

2022年1月28日

りそなアセットマネジメント株式会社

「インパクトファンド」および「ESG ファンド」の追加について

りそなアセットマネジメント株式会社（以下、「当社」）は、ファンドの設定目的や特性を鑑み、当社が組成する公募ファンドのうち「インパクトファンド」および「ESG ファンド」と位置付けるファンドを明確にしております。詳細については別紙をご覧ください。

今般、下記のファンドを設定し、当社のインパクトファンド／ESG ファンドに追加いたしました。

ファンド分類	ファンド名称	主要投資対象	設定日
インパクトファンド	グローバルインパクト投資ファンド（気候変動）	グローバル株式	2021年12月
ESGファンド	九州SDGs・グローバルバランス	複数資産	2021年11月

インパクトファンド／ESG ファンドについては、ファンドが創出するインパクト評価やファンドの特性などについて、『インパクトディスクロージャーレポート』および『ESG ディスクロージャーレポート』を作成し、お客さまに分かり易くお伝えしてまいります。

当社は、当社のパーパス（存在意義）¹である「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」することを通じ、お客さまに喜んで選んでいただける資産運用会社を目指しています。当社のパーパスの実現のため、これからも持続可能な社会への貢献と、お客さまへの充実した情報の提供に努めてまいります。

以上

¹ 「当社のパーパス（存在意義）」につきましては、当社ホームページの「運用に対する考え方」(下記 URL) からご参照ください。

<https://www.resona-am.co.jp/about/investment.html>

【別紙】

インパクトファンド

経済的なリターンの追求とともに、国内外の社会的課題を特定し、当該課題に対してインパクトを創出することを目的とするファンドです。

ファンド名称	主要投資対象	設定日
日本株式インパクト投資ファンド	日本株式	2021年6月
グローバルインパクト投資ファンド（気候変動）	グローバル株式	2021年12月

インパクトファンドについては、ファンド毎のインパクトディスクロージャーレポートにて、当該ファンドのインパクト投資にかかる特性について詳細に記載いたします。また、定期的に公開するインパクトレポートでは、当該ファンドが創出する社会的課題へのインパクトの定量的・定性的な評価、インパクト創出に至るロジックモデル等について、わかり易く記載する予定です。

ESG ファンド

経済的なリターンの追求とともに、投資対象や運用プロセスにおいて、とりわけ「環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Corporate Governance）」を考慮するファンドです。

ファンド名称	主要投資対象	設定日
りそな日本中小型株式ファンド	日本株式	2018年9月
S m a r t - i 国内株式E S G インデックス	日本株式	2019年10月
S m a r t - i 先進国株式E S G インデックス	先進国株式	2019年10月
埼玉りそな・グローバルバランス・プラスE S G	複数資産	2020年9月
グローバル中小型株式ファンド	グローバル株式	2020年10月
国内株式E S G インデックス・オープン	日本株式	2021年9月
先進国株式E S G インデックス・オープン	先進国株式	2021年9月
九州SDGs・グローバルバランス	複数資産	2021年11月

ESG ファンドについては、ファンド毎の ESG ディスクロージャーレポート内にて、ファンドの目的や投資対象、投資プロセスを詳細に記載いたします。当該ファンドが、どのようなプロセスを経て環境、社会およびガバナンスの特性を有しているかについて、わかり易く記載し、順次公開しています。

※ 上記ファンドは 2021 年 12 月末までに設定したファンドです。